

<陶>

新垣 栄

昭和38年、那覇市に出生。壺屋焼(荒焼)の家系に生まれ、大学卒業後、父と共に荒焼を伝承している。作品は焼き締め陶器で、登り窯の特徴である薪の変化が景色となって表面に表れています。工房では、主に獅子製造、酒器容器や葬祭用陶器、陶土製造も手掛けています。



壹岐 幸二

1966年 京都府生まれ
1990年 沖縄県立芸術大学卒業
1991年 同大学研究生修了
1991～96年 読谷山焼 大嶺寛清に師事
1996年 「陶器工房 壹」設立

日本各地にて個展・グループ展多数。



金城 吉彦

1967年 沖縄県那覇市生まれ
1990年 父金城敏男に師事
1998年 第20回現代沖縄陶芸展入選
2006年 第58回沖縄展奨励賞

沖縄の伝統技法を踏襲しながら同時に、新しいスタイルにも挑戦し革新・変化を加えた作品にも取り組む。釉薬や、土を工夫し、それを活かした作品を制作。現在、読谷村在住。



小橋川 卓史

1969年 沖縄県那覇市壺屋生まれ
1988年 父(清正)に師事

2002年 日本伝統工芸士に認定
(経済産業大臣指定)
2005年 特別許可を得て壺屋に陶器工房を開窯
(那覇市初)

現在 壺屋陶器事業協同組合理事



島袋 常秀

1948年 那覇市壺屋生まれ
1973年 琉球大学美術工芸科卒
父 島袋常恵に師事
1975年 常秀陶器工房設立
1978年 国画会新人賞受賞
第1回個展(以後毎年開催)
1987年 工房を読谷村座喜味に移す
沖縄県立芸術大学講師となる
現在 沖縄県立芸術大学美術工芸学科教授



城間 裕

1972年 沖縄県生まれ
1996年 陶芸を始める
2010年 第107回九州山口陶磁展1部入選
2012年 第109回九州山口陶磁展1部入選
荒焼という無釉陶器の窯元で生まれ育ち今に至ります。施釉陶器も作りますが、共に土の持ち味を上手に表現できるよう制作しております。



平良みどり

1973年 那覇市生まれ。琉球大学美術工芸科卒。
沖縄県内外個展・グループ展多数。現代沖縄陶芸展
沖縄三越社長賞等受賞。現在、浦添市にて工房ippo
主宰。

生まれ育った沖縄の自然・文化を意識。人工物が風
化し、新しく生命が芽生える姿、自然が生み出した未
知なる造形を原風景として制作をしている。



緑影



壁掛け花器

田里博

1963年 沖縄県糸満市生まれ
1986年 琉球大学美術工芸科卒業
1987年 沖縄県立芸術大学工芸専攻助手
1992年 工房 塙(せん)設立



玉城 望

1991年 壺屋焼窯元 国場一 師事
2000年 大宜味村に登り窯築窯
2007年 沖縄県工芸士認定
2008年 沖縄県工芸公募展佳作
2012年 沖展会員推挙
沖縄県 優秀技能者表彰

伝統的な技法を元に、現代の生活にあう器づくりを心がけている。
貼り付、搔き落し、染め付等を中心に手がけている。



玉城 若子

1993年 壺屋焼窯元 小橋川昇 師事
1997年 金城敏昭 師事
2000年 大宜味村に登り窯築窯
2008年 沖縄県工芸公募展優秀賞

見る人、使ってくれる人が温かい気持ちになるもの作りを心がけています。
貼り付、イッチン等を中心に手がけている。



<ガラス>

稲嶺 盛一郎(いなみね せいいちろう)

1971 那覇市寄宮に生まれる。
1987 奥原硝子工房入社
1995 宙吹ガラス工房「虹」(読谷村)入社
1996 第19回沖縄県工芸公募展(佳作)
1997 第49回沖展(奨励賞)
1998 第50回沖展(奨励賞)
1999 第51回沖展(奨励賞)沖展準会員推挙
2001 新生美術会員
2002 第54回沖展準会員賞



池宮城 善郎

1958年 沖縄生まれ、琉球ガラス製作歴32年
1993年 沖展奨励賞 受賞
1994年 沖展賞 受賞
2000年 2回目の沖展賞受賞 同時に沖展準会員となる
2001年 沖展準会員賞受賞
2003年 2回目の沖展準会員賞受賞
同時に沖展会員となる
2004年 沖縄県工業連合会より優秀技能賞 受賞
琉球ガラス作家3人展開催、沖展審査員となる
2007年 初の個展開催(りうぼう美術サロン)
沖縄タイムス社タイムスギャラリーにて個展を開催

